

那覇市教育委員会会議録

令和3年度（2021年度）第4回（定例会）

署名人 仲本千佳子

教育長 山城良嗣

開催日時 令和3年（2021年）5月24日（月）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時17分

開催場所 那覇市役所10階 1002A・B会議室

出席者

〔教育長・教育委員〕

山城良嗣教育長、本仲範男委員、喜屋武裕江委員、仲本千佳子委員

〔事務局職員〕

【生涯学習部】小嶺理部長、田端睦子副部长

（総務課）稲福喜久二課長、稲森恵子副参事、松井都矢子主査、知念潤主査

【学校教育部】武富剛部長、根間秀夫副部长

（学校教育課）名嘉原安志課長、平良美夏副参事、神谷貴子指導主事

議事日程 ※議事日程1は非公開案件。ただし、会議録は委員の委嘱後に公開。

1 議案第6号 那覇市就学支援員委員会委員の委嘱及び任命について【学校教育課】

会議録作成（総務課）松井都矢子主査

山城教育長 おはようございます。令和3年度第4回教育委員会会議(定例会)を開催いたします。平良委員がまだですが、会は始めていきたいと思います。本日の議案は1件でして、会議録署名は仲本委員にお願いいたします。初めに会議の非公開について、委員の議決を諮りたいと思います。議案第6号は個人に関する情報が含まれています。当該個人が特定されるため、非公開とすることが適当であると思われま。但し、会議録は委員の委嘱後に公開したいと思います。それでは議案第6号を非公開としてよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

山城教育長 ありがとうございます。それでは議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」は、非公開といたします。関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

山城教育長 それでは議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」を議題といたします。学校教育部長、お願いいたします。

武富部長 議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」那覇市就学支援委員会委員を別紙のとおり委嘱及び任命する。

令和3年5月24日提出。教育長 山城 良嗣。

提案理由 那覇市就学支援委員会委員の任期満了に伴い那覇市就学支援委員会規則第3条及び第4条の規定に基づき、委員を委嘱及び任命するため、この案を提出する。

詳細につきましては、学校教育課で行います。

山城教育長 名嘉原学校教育課長、お願いいたします。

名嘉原課長 よろしく申し上げます。それでは議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」ご説明いたします。今回は任期満了に伴う委員の委嘱及び任命となっており、20人の委員の委嘱等を行います。詳細につきましては、担当からご説明いたします。

山城教育長 それでは、お願いいたします。

平良副参事 資料②、3ページをまずご覧ください。就学支援委員会の規則となっております。第3条には委員は20人で組織するとございます。又、構成としましては、那覇市立の小中学校校長、特別支援学級の教諭、医師、その他となっております。

次に第4条をご覧ください。委員の任期は2年となっております。今回は任期満了となっておりますので、20人の委員を委嘱及び任命することとなっております。

それでは戻りまして、1ページをご覧ください。今回は17番の委員と20番の委員が新しく加わっております。本日、議決頂きましたら、2年の任期がございますので、令和3年6月1日から令和5年5月31日までが委嘱等の期間となります。説明は以上でございます。よろしくご審議の程お願いいたします。

山城教育長 それでは、今、説明、提案がありましたが、この件について、何か、ご質問、ご意

見等がありましたらお願いいたします。本仲委員、どうぞ。

本仲委員　　これについて、委員の委嘱については、異論はないんですけども、この委員会規則の中で、この就学支援委員会というのは、子ども達の就学先の判断、それから障害の種類とか、程度の把握に関すること、かなり重要な役割を占めていると思うんですよ。それで、この人数20名で大丈夫かなと思いますね。というのは、この3ページの委員会規則を見ると最初に公布されたのが昭和52年ですよ。その後、会則を改正されたのが平成11年だから約20年近く触られていなくて、それで平成11年から今もう令和3年になっていますよね。この間で、この改正の時に人数の変更があったのかどうか、学校においては、この就学支援委員会というのは、かなり気を要するし、時間も掛かる。先生の検査とか、そういうものにも、かなり時間を掛けてやっているといると思うんです。だから昭和52年から令和3年までは、かなりの数、子ども達は増えていると思うんですよ。だから各学校、就学支援委員会というのは、大変、四苦八苦していないかなという感じがします。いつも思っているんですよ。前からですけど。委員について異論はありませんけれど、今後、人数については、ちょっと検討を要するんじゃないかなと思います。この辺、ちょっと気になる所です。

山城教育長　　武富学校教育部長、お願いします。

武富部長　　どの段階で人数が変わったかは分かりませんが、今、本仲委員がおっしゃったように、本当に、特別支援学級対象の児童生徒というのは、かなり増えている状況であります。やはり、実際、委員の就学支援委員会を見ていても、かなり時間をかけて、これだけの数の子ども達を見ているので、やはり適正就学という点から考えた場合には、この委員の数を含めて、他の県の状況等も確認しながら、少し検討して行きたいと考えております。

山城教育長　　本仲委員、よろしいですか。どうぞ。

本仲委員　　それとですね。退職した先生方も、かなり詳しい方もいらっしゃいますのでね。どうぞ、この人達の手も借りてですね、本当に適正な判断、就学支援出来るような検討をお願いしたいと思います。

山城教育長　　就学支援委員の数も、そうですが、運営の方法等も含めて適正に運用できるような検討をお願いしたいという要望でした。それでは学校教育部のほうで、又、しっかり今後に向けてご検討をお願いします。他ございませんでしょうか。本仲委員、お願いします。

本仲委員　　本仲委員と一緒に、人事については特に意見はないんですけど。適就にかけられる児童生徒数、大体で良いんですけど、どれ位の数ですかね。

山城教育長　　お願いします。

平良副参事　　令和2年度時点で517件ございます。

本仲委員　　けっこう大変ですね。私、こういう適就にかかるお子さん達を外来で見ているとい

うこともあって適就に対しては、ちょっと思う所があるんですけども。年に1回、とても大変な作業なんですね。年に1回やることも本当に大変なんですけど。それがですね、新学期に入って直ぐに適応障害になったお子さん達ですね、1年待たされることになるんですよ。その間に、環境調整できっと大丈夫だろうなというお子さん達も、来年までは我慢してねということで、学校現場であいている校長先生、教頭先生、養護の先生から、図書館の先生迄、みんな駆り出されて、何とか支えはするんですけど。この間システムで支えている訳ではなく、大変なので、本当は臨時で緊急性を要するようなお子さんに関しては、緊急の適就委員会などがあると良いかと思えます。予算の関係もあるので、委員会を開催しても、人事の配置とか、行政側の事情も、とても察するんですけど、特に低学年のお子さん達の1年というのは、あまりにも大き過ぎて、本当にもう少し柔軟に対応できないかなとは思いますがね。名護市なんかは「お試し」というかっこを付けて入れてくれるんですよ。多分、定員以上に取ってくれているんだと思うんですけど、正式には在籍している訳ではないんですけど、お母さん達と話し合っ、て、ちょっとお試ししてそれが良ければ、次年度、対応しましょうねということで、実質には在籍の子たちと同じような形で、フォローしてくれるので、名護市に関しては、何とか、なっているということと。北部圏域は人口規模が小さい所が多いので、年度途中からの支援も入れるという形で対応してもらってはいるんですけど。やはりPTA会長してきた時には、小学校なんか見ていると、ちょっときつそうだなこの子、と思っても、中々、行政を動かすのは1年待つという感じで。その間、児童デイにちょっと手を借りたりと四苦八苦する感じなので、大変、難しい面もあるとは思いますが、本仲委員がおっしゃるように、この令和になって、だいぶ状況も変わっているので、もう少し柔軟な運用というの、少し研究してみても良いのかなと感じています。お疲れ様です。500人もの児童生徒を、本当に見るのは大変かなと思いました。ありがとうございます。

山城教育長 今、仲本委員からは、この判定のタイミングを、もう少し柔軟に出来ないのかということと、それから特別支援学級での、判定前の支援等も含めて、どうかということなんですが、何か、この件に関しては、現状も含めてご説明がありますか。お願いします。

平良副参事 就学支援委員会のほうですが、特別支援学級など希望するお子さんの募集は年に2回行っておりました、合わせて517件の審議ということになっているんですけども平成24年から比べると約3倍増えています。そのために、中々、臨機応変に対応するというのは難しい状況でございます、学級設置も年度初めに一旦学級設置をして、そこにお子さん達が特別支援学級などに就学するということになる訳ですけども、その後、気になる子ども達を受け入れるには、ちょっと人数があまりの多いものですから、そこまでの対応はできていないというのが現状でございます。入学前の就学支

援委員会にかかる前には、気になるお子さんの保護者、又は幼稚園やこども園、園長先生方へは、今年はコロナがあったものですから、保護者向けに三回、園向けに一回、説明会を開いておまして、出来るだけ周知を図っているところではございます。

山城教育長 よろしいでしょうか。本仲委員、どうぞ。

本仲委員 その就学支援委員会というのは、仲本委員がおっしゃったように、別途、工夫が必要かなという感じがします。ちょっとさかのぼって思い出して見ると、平成25年までは、いわゆる設置基準が5名だったんですよ。それが平成26年になって3名になって、そして平成26年の終わりからは1名でもつけますよというように、インフラというのかな、これがかなり整ってきたんですね。それで、この平成26年以降、かなり特別支援学級が増えてきたと思うんですよ。増えてきたというのは、いわゆるボーダーラインに居る子が沢山いたということと、それから児童生徒の全体の6%位、該当する子が居るということも判明していて、大体、インフラが良くなってきて、良かったなと思うんですけども、この就学支援委員会の在り方で見ると、この人数に対しては、かなり難しい工夫が必要ではないかなという感じが感想としています。大きな課題だと思います。

山城教育長 先程の人数の件も、それから判定に向けた色々な手続きも含めて、現状、非常に厳しいということであるんですが、又、少し課題もハッキリさせながら検討できることから検討して行っていただけたらなというふうに思います。この特別支援教育に関しては、仲本委員がおっしゃった意外に、逆にふさわしい子が、そこに、中々行けないというふうなこともあったりということで、凄く難しい所があると思うんですが、是非、この辺は学校とも連携しながら進めて行っていただけたらと思います。それではよろしいでしょうか。それでは議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

山城教育長 それでは議案第6号「那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について」は、議決いたします。

～ 非公開 ～

山城教育長 非公開を解きます。

山城教育長 以上を持ちまして、令和3年度第4回教育委員会会議(定例会)を終了いたします。お疲れ様でした。

案件の審議結果

議案第6号	那覇市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について	原案どおり可決
-------	-------------------------	---------